

国際学部 教員組織の編制方針

中京大学国際学部国際学科および言語文化学科は、教育研究上の目的の達成に向けて、「学位授与の方針」で示した学修成果（教育目標）をあげた学生に学士（国際学）を授与できるよう、次の方針のもとに、専任教員組織を編制する。

- ・国際学部は、学科の下に専攻及び専修を置き、2学科6専攻11専修で組織する。

学科	専攻	専修
国際学科	国際人間学専攻	哲学・人間学専修
		グローバル・ヒストリー専修
	国際政治学専攻	国際政治学専修
		国際開発学専修
	国際経済学専攻	国際経済学専修
		国際ビジネス学専修
Global Liberal Studies 専攻	Global Liberal Studies 専修	
言語文化学科	複言語・複文化学専攻	言語学専修
		異文化コミュニケーション専修
	英米学専攻	英語学・英語教育専修
		英語圏文学・文化専修

- ・専修ごとに複数人の専任教員を配置することとし、「学部基礎科目」「専攻基礎科目・専修基礎科目」「専修科目」「ゼミナール」「卒業研究」に区分されるカリキュラム上の中核的な各科目は、優れた研究実績と教授能力を有する専任教員が一貫して担当する。
- ・各専修に配置される「選択科目」のうち、「特殊講義」や「Special Topics」に類する科目など、最新の知見や時事を授業内容として扱うものについては、その分野の専門家である兼任講師を充てることのできるものとし、幅広くかつ深遠な知識を教授する。
- ・授業内容及び方法の改善を組織的にすすめていくため、FD活動の活性化を図る。
- ・専任教員の新規採用にあたっては、教育研究活動の向上を目指し、専任教員の年齢構成の適正化に努めるとともに、男女共同参画の実現の観点から、男女別構成に偏りが生じないように努力する。
- ・学部運営の充実を図るため、各学科・各専攻・各専修及び各学部内委員会等の適切な役割分担の下で、組織的な連携協力体制の構築が可能となるよう人員を配置する。